博物館 topics

那覇市歴史博物館企画展
徳村光子寄贈資料展 夢見る琉球人形
～ Dream of Ryukyu Dolls ～

徳村光子氏（1913～2008）は、戦後間もない昭和22年、首里文化洋裁講習所を設立しました。講習所では洋裁や編み物などを教え、戦争で稼ぎ手や仕事を失った女性達が技能を身に付けて生計が支えられるようになる手助けをしました。

当時は物資のない時代だったので、アメリカ軍の払い下げの洋服をほどいて再利用したり、メリケン粉の入っていた木綿袋を転用して刺繍入りのテーブルクロスを作るなど、様々な試行錯誤が繰り返されました。

その中で始めた琉球人形作りが在留アメリカ人の婦人達にお土産品として好評を博し、徳村氏は後に首里婦人手芸同好会を設立し、琉球人形やアメリカ人向けのギフトカード作りなどを手がけるようになりました。

紅型や絣の着物をまとい、琉球舞踊のポーズを取った様々な人形は、沖縄の伝統的な姿を表していると人気を集め、アメリカ人だけでなく、本土からの観光客や地元沖縄の人々にも愛好されるようになりました。

徳村氏の活動は、女性達の経済的自立を助ける一方で、人形を通して戦争で破壊された沖縄の伝統文化を再確認するきっかけともなったのでした。

今回の企画展では、戦争の焼け跡の中で、洋裁学校経営や琉球人形作りを通じて、徳村氏とその周辺の女性達が見た様々な夢と希望を、人形や諸資料で紹介します。

▲琉球人形「天川」

期 10月5日(土)～12月25日(水)
費 一般 300円

国宝尚家衣裳10月の特別展示
「縞と格子の夏衣裳」
期 10月5日(土)～30日(水)

開館時間 10時～19時　木曜休館　☎ 869-5266

那覇市歴史博物館
那覇の歴史・文化を体感！

那覇市立壺屋焼物博物館イベント情報
Okinawa　Blue & White　～沖縄が愛した青と白～

白い肌に青い釉薬で模様が描かれた陶磁器は、青花や染付け、Blue and white porcelain(ポーセリン) と呼ばれ、世界中で愛されてきました。琉球王府時代末期から壺屋焼でも青い釉薬が使われるようになります。白い化粧土の上の青は、現在では多くの焼物に使われる沖縄陶器を代表する色へとなっています。本展では、琉球王府時代末期の最初期の青い釉薬から現代作家の作品まで、白い化粧土と青い釉薬をテーマに県内外の優品を展示公開し、その歴史や美意識をご紹介いたします。

日 10月11日 (金) ～11月17日 (日)　場 3階 企画展示室　費 無料

▲「呉須松筒花生」
19世紀・壺屋焼

ギャラリートーク
企画展「Okinawa Blue&White」の担当学芸員が展示会場で解説をいたします。
日 10月12日 (土)・11月3日 (日) それぞれ午後2時から1時間程度
場 3階 企画展示室　費 無料

学芸員と展示を見よう ～常設展ギャラリートーク～
日 10月20日（日）午後3時から30分程度　費 常設展の観覧料が必要です（市内の小・中・高校生は無料）　申 不要。当日、博物館1階受付前に集合してください。

壺屋焼物博物館
開館時間 10時～18時（入館は17時半まで）　☎ 862-3761
月曜休館　※ただし、月曜が祝日の場合は開館　FAX 862-3762

協働さん いらっしゃい！

市民・事業者・行政が支え合う協働のまちづくりに取り組む団体、個人を紹介します。

第31回　安岡自治会会長　高崎 和明さん

今、安岡自治会が進化しています！

平成24年4月から安岡自治会会長を務める高崎和明さん（68）は、県営安岡市街地住宅130世帯の住環境の改善と生活の質の向上を図るため、様々なアイデアを取り入れ、既存の自治会運営の枠にとらわれない自治会活動を展開しています。「まず、金銭の流れを分析し、様々な管理手法で経費削減を図り、会員の負担も軽減し、これまで実現できなかった成果もあげることができた」と就任1年目を振り返りました。

築30年以上経過した県営住宅はエレベーターの扉や内部の傷みが激しく、門および玄関入り口タイルの剥がれも目だっていましたが、県と交渉して修繕してもらったり、また市からは草花の苗を申請して受け取り、花壇に植えるなど目に見える成果を上げてきました。「自治会長には、予算管理力と交渉能力が必要」と話し、「まずは事業と予算を見直し、役員のスリム化と役員手当などの支出を削減した。また、自動販売機の電気料を事業者負担に変えることで支出を減らすことができた。また、共益費（自治会費含む）も3500円から2500円に減額したことで、集金率も向上し、会費未納者も減らすことができた」と毎月実績管理を行い、効率的に事業を行った成果を説明してくれました。

▼高崎 和明さん

“協働のまちづくり”のカギは“連携”

2年目の今年は、自主防災組織を立ち上げ、市に申請し認定を受けました。早速助成金を使ってヘルメットや携帯自家発電ライトなどの防災グッズを購入するなど、災害対策にも力を入れています。

高崎さんは、自治会活動だけにとどまらず、銘苅小学校の校区コミュニティモデル事業や市民協働大学へも参加し、様々な団体や個人との交流を図っており「会長の仕事を通してみて、各団体との横のつながりが弱いと感じる。協働のまちづくりには各団体との〝連携強化〟が必要だと思う。場合によっては行政がリーダーシップを取ることもいいのでは」と協働のまちづくりへの思いを話してくれました。

お問い合わせ　まちづくり協働推進課 ☎ 881・3846

歴史まーい

那覇市指定史跡

「渡嘉敷三良の墓」

沖縄の墓の形式は、自然洞窟を利用した洞穴墓や岩盤を加工した掘抜墓（フィンチャー）が古いと伝えられ、近世に破風墓、亀甲墓へと発達してきました。この墓は石灰岩を利用した掘抜墓で、墓室内は亀甲墓に見られるアーチ組石や切石積みではなく、石灰岩を掘り取って作られています。骨甕を安置する台も奥正面にある古い形式の掘抜墓で、外面も原形を保っています。そのため墓制や造墓技法などを知る上で貴重な墓となっています。築造は一六〇四（万暦三二）年、あるいはそれ以前に完成されたと思われます。渡嘉敷三良について、子孫の照喜名家にある『新参阮姓家譜』と『琉球国由来記』（一七三三年）には次のように記録されています。「渡嘉敷三良はもと中国の人で、沖縄に渡り、ついに永住するようになり、妻を娶り真和志間切国場村（現在の字国場）に移住した。住まいの近くに窯を設けて瓦を焼きはじめ、その技術を子孫に伝えて広め、唐大王とも呼ばれた。一六〇四（万暦三二）年二月二四日、位牌を建立した。塚所（墓）は牧志村照川原という所にあり、毎年二月二四日に子孫は墓参りをして祭礼を行ってきた。四世安次嶺親雲上は、首里城正殿や寺などの瓦葺に従事した功績により、一七六二年（乾隆二七）年照喜名良始の時王府に申請して家譜を賜った。」このように、渡嘉敷三良は、沖縄における瓦工として、文献に現れてくる最初の人です。お墓の所在地は那覇市牧志二丁目五四七です。パラダイス通り沿いにある緑ヶ丘公園内にあります。

お問い合わせ　文化財課 ☎ 917・3501

うちなーぐちは あじくーたー

〈今月のテーマ〉
かばさん

ロケ地：むつみ橋交差点

「かばさん」は、日本語では香りが良い、芳ばしいの意味です。「かばうこう」は香りの良い線香、「うこーる」は香炉を意味します。

反対に「くささん」は日本語では臭いといい、「やなかじゃ」は悪いにおいです。「ひりぐささん」は、魚の生臭いにおいなどに使われます。

（例文）
何時ん（いちん）ちん　那覇（なーふぁ）の
キャンペーンレディーや、
いっぺー　いーかーぎーやー。
我（わん）が、側（ばい）んかい　寄（ゆ）いねー
ゆいぬ花ぬうぐとう
かばさっさー。

（和訳）
いつ見ても、那覇の
キャンペーンレディーは
とても美人ですね。
側に寄ったら、百合（ゆり）の花の
ようなよい香りがするね。

〈出演〉
NPO法人 那覇市街角 ガイド
那覇観光キャンペーンレディ　冨田 義照（中央）　伊波 栄美（右）　佐久田優子（左）

【お問い合わせ】
那覇市文化協会　うちなーぐち部会
桑江 良勝、名嘉山秀信
090・4347・8798

交通事故 相続 離婚 債務整理
相談して「良かった」という声を多数頂いております!!
当事務所は、企業法務にも力を入れておりますので、経営者の方もご相談ください。

ご相談は何度でも無料
※個人のお客様のみとさせて頂きます。

代表社員弁護士 岡野 浩巳

～ 明日のためにできること、今あなたとともに。～
OKANO LAW OFFICE
弁護士法人 岡野法律事務所
はいさい那覇支店　社員弁護士（沖縄弁護士会所属） 山田 英之
岡野法律事務所は代表社員弁護士 岡野 浩巳をはじめ8名の弁護士が所属しております。
☎ (098) 836-8131（はいさい）
女性秘書が丁寧に対応させて頂きます
〒900-0023 沖縄県那覇市楚辺1丁目5番17号　プロフェスビル那覇2階
http://www.okano-hiroshima.jp/naha/　岡野法律事務所 那覇　検索
広告